

令和 6 年度第 1 回 筑紫野市障害者施策推進協議会 議事録

開催日時：令和 6 年 10 月 31 日（木）14 時 00 分～15 時 20 分

開催場所：筑紫野市役所 505 会議室

出席委員：12 名（上村委員、山本委員、益永委員、溝田委員、戸島委員、鬼木委員、
岩切委員、庄嶋委員、樋口委員、水田委員、伊藤委員、川崎委員）

欠席委員：2 名（大島委員、田中委員）

事務局：4 名（濱崎 健康福祉部長、虫明 生活福祉課長、山内 生活福祉課障がい者
福祉担当係長、野中 生活福祉課障がい者福祉担当主任）

傍聴人数：0 名

会議次第：

- 1 開会
- 2 健康福祉部長あいさつ
- 3 委員の紹介
- 4 事務局職員の紹介
- 5 議事
第 3 期筑紫野市障がい者福祉長期行動計画について
 - (1) 令和 5 年度の進捗状況について
 - (2) 6 年間の施策別達成度推移について
- 6 報告
第 4 期筑紫野市障がい者福祉長期行動計画について
- 7 事務連絡
- 8 閉会

【議事要旨】

第3期筑紫野市障がい者福祉長期行動計画について

(1)令和5年度の進捗状況について

事務局より、令和5年度分の第3期筑紫野市障がい者福祉長期行動計画進捗状況表に沿って、基本目標毎に進捗状況を説明した。

◆ご意見・ご質問等

○基本目標1

委員：7 ページ③市民活動団体等への支援(障がい者支援の福祉活動を行う団体への家賃補助)の目標は4団体だが、実績が2団体で、実績が減った理由は？課題の方向性で、補助制度の周知を行っていくとのことで、どのように周知する予定か？

事務局：4団体から2団体に減った経緯は、もともと補助していたボランティア団体のうち、2団体の活動が終了したためである。周知方法はこれから検討予定とのことだが、現時点で具体的な方法は把握できていない。

会長：こういうものがあると非常に助かる団体がおられるだろうから、ぜひ周知を。

会長：8 ページ①学習機会～(ちくしの福祉村の公開講座の件)の、実績が2回となっているが、カウントの仕方は？

事務局：障がいに関する内容で実施された回数を、実績として挙げている。

委員：全体的に目標値が傍線(一)のところが結構あるが、もともと目標値がなかったのか？

事務局：数値化した方がわかりやすいため、できるだけ目標値を入れているが、数値化するのが難しいものは(一)となっている。

会長：数値目標にしにくいものもあると思う。この質問に関連し、進捗状況表の見方にあるように、筑紫野市の行政施策をPDCAサイクルで評価する際の評価の基準はこの3項目(◎、○、△)で行うのか？障がいの計画だけこの方法か？

事務局：あくまでも、この計画で設けている基準である。

委員：総合計画は数値目標で評価するようになっている。

事務局：総合計画は、上村委員のおっしゃる通りである。達成状況に応じて、達成したのか、達成していない場合、それが高程度なのか、中程度なのか、という形で所管課で自己評価を加えている。

委員：下位の計画でも評価をきちんとしないといけない、というふうになっている。

○基本目標 2

会 長：例えば、家庭児童相談業務について、10 ページにも、15 ページにも出てくる。

これは別々に分けないといけないのか？

事務局：相談業務が複数の施策・事業に跨っており、どちらにも挙がっている。

委 員：15 ページの 3 番目(民生委員等からの実態把握件数)について、今後ずっと増えると思う。独居老人の方が認知症になることが多くなり、民生委員・福祉委員の方をお願いしている。障がい者の方には守秘義務があり、個人情報に壁になっている。(訪問に)行っても「うち関係ない」と言われて、自治会に報告がある。(訪問に)行った時の受け入れ、どうしたら連携が親御さんと取れるかと思っている。

○基本目標 3

委 員：18・19 ページの特定健診に関するものについて、目標値と実績があるが、特定健診の場合、受診した人の数だけでなく、対象者数が分かったほうが良いと思う。

また、23 ページの自立支援医療について、精神が増えているのは分かるが、更生医療や育成医療はなぜ減っているのか、もう少し分析をしてもらえれば。

会 長：更生医療・育成医療の分析も、課題・方向性で出したら、よりわかるのでは。

○基本目標 6

委 員：36 ページの①障がい者雇用に係る～で例えば福岡県ハローワークが実施する助成制度の周知、④就労支援体制の構築、⑤精神障がいのある人の雇用促進、33 ページの①ジョブコーチの活用促進のところが、全部実績が傍線（一）になっており、これは実績がなかったととらえていいのか？

事務局：ケースの中で様々な関係機関に繋ぐことはあると思うが、それに特化して件数を管理しておらず、具体的に挙げられていない。

委 員：課題・方向性でも「今後も事業を継続する」としか書いてないので、目標も実績も（一）なので、なぜ評価が「○」になっているのか分かりにくいと感じた。障がい者雇用で、仕事について悩まれている方が一杯おられるため、どういう動きをしたのか、実際に就職に繋がったケースがあるのか知りたいが、それが見えないのが残念な気がする。

事務局：記述の部分について、きちんと分析をして、業務内容を見直すというところも、新たな施策につないでいくので、改めさせていただきたい。

会 長：障がい者雇用について、今年も障がい者の雇用者数は最多との情報があるが、実態はどうなのか、雇用されているが、その分、例えば退職を余儀なくされて

いる方々も実はいる。今おっしゃったことも、非常に大事な点だと思う。

○基本目標 7

会 長：41 ページの災害時要援護者の登録者数の目標値 3000 人は、筑紫野市の方で、少なくとも 3000 人は要援護者の登録が必要な方ということなのか？根拠は？

事務局：障がい者手帳の何級等、規定があるため、それをみて設定されているものになる。

委 員：民生委員のところに要援護者の件で来られるが、一人暮らしや、夫婦でおられても、不安と思った方が登録される。なので(登録者)イコール障がい者ではない。

事務局：手帳の何級をお持ちの方という形になるが、実際ご家族が住まれている、支援者がいる場合は、登録にならないので、実績に反映されていない。

委 員：福祉避難所の設置（協定）と書いてあり、2ヶ所となっているが、1ヶ所で大体どのくらい引き受けが可能か分かると、今後の計画に繋がるかと思う。

(2)6 年間の施策別達成度推移について

事務局より、第 3 期筑紫野市障がい者福祉長期行動計画の計画期間の 6 年間（平成 30 年度から令和 5 年度まで）の、達成率の推移を説明した。

◆ご意見・ご質問等

会 長：折れ線グラフにすると、伸びているか伸びていないかが視覚的に分かりやすい。今後、検討してもらえれば。

【報告】

第 4 期筑紫野市障がい者福祉長期行動計画について

事務局より、第 4 期筑紫野市障がい者福祉長期行動計画の概要（第 3 期から変更している部分等）を説明した。

◆ご意見・ご質問等

特になし。